

2024年度入学式

## 校長式辞

二子の丘の桜も満開となり、多くの草木も可憐な花を咲かせています。また、樹々の梢からは、小鳥たちが仲間を求めて呼び交わすさえずりの声が聞こえてきます。

このような春爛漫の良き日、私たちは、清心中学校四十六名、清心女子高等学校百八名の新しい仲間を迎えることになりました。新入生の皆様、そして御家族の皆様、本日は御入学、誠にありがとうございます。清心中学校・清心女子高等学校の生徒一同、そして教職員は心から皆さんの入学を喜び、歓迎いたします。

皆さんは、多くの中学校や高等学校の中から、この清心中学校・清心女子高等学校を選び、入学してくださいました。そして、私たちの清心中学校・清心女子高等学校には、他の学校にはない、多くの特色があります。

先ほど述べましたように、野山に咲く花を見る時、そして樹々の梢で鳴く鳥の声に耳を傾ける時、私たちは、新約聖書に記されている、イエス・キリストの言葉を思い出します。

「空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。それでも、あなたがたの天の父は養ってくださいます。あなたがたはその鳥よりも、ずっと価値があるではありませんか。

なぜ着る物のことで心配するのですか。野の花がどうして育つのか、よく考えなさい。働きもせず、紡ぎもしません。しかし、わたしはあなたがたに言います。栄華を極めたソロンでさえ、この花の一つほどにも装っていませんでした。今日あっても明日は炉に投げ込まれる野の草さえ、神はこのように装ってくださるのなら、あなたがたには、もっと良くしてくださらないでしょうか。」

このように、空の鳥、野の花について語りながら、主イエス様は、真の神様が私たち一人ひとりをかけがえのない存在として尊重し、心を配ってくださっていることを示され、この神様に信頼することの大切さを教えられました。先ほどのシスター中村先生のお祈りの際にも、主なる神様の私たちへの慈しみや憐れみは絶えない、尽きることがないという旧約聖書の言葉が読まれました。

私たちの清心中学校・清心女子高等学校は、このような神様と主イエス・キリストへの信仰にその土台を置いている学校です。そして、私たちのこの学校は、十九世紀のフランスおよびベルギーで奉仕されたカトリックのシスター、聖ジュリー・ピリアートにその源を置いています。聖ジュリーは、フランス革命後の混乱期、戦火に追われ貧困に喘ぐ女性や子どもたちを救うために、多くの苦難を乗り越えてナミュール・ノートルダム修道女会を設立しました。この修道女会の奉仕はやがて全世界に広がり、アメリカの修道女会の活動を経て、今からちょうど百年前の一九二四年に日本にまで届きました。

この年、アメリカの修道女会から派遣された六名のシスターが、岡山の地にあった清心高等女学校の経営を引き継ぎ、私たちの学校の礎を置きました。その後、第二次大戦の苦難を乗り越えた清心高等女学校は、新しい学制のもとで清心中学校および清心女子高等学校となり、さらに一九六四年、この倉敷市二子の地に移転してきました。以来六十年、この地において、「心を清くし 愛の人であれ」という校訓を胸に抱きつつ、私たちの学校は特色ある教育と多くの実績とを積み重ねてきました。

また、私たちの学校は、岡山県下で唯一の女子校でもあります。我が国の教育では、一九四六年の学制改革以降の約八十年間、男女平等教育を含め、様々な取り組みがなされてきました。しかし、今なお、ジェンダーギャップ指数の国際比較では日本は一二五位という状態にあり、政治・経済分野での著しい男女格差とともに、教育でのジェンダーバイアスやステレオタイプ思考の影響が指摘されています。しかし、私たちの学校では、このような「女の子だから」とか「女の子なのに」という偏見と先入観に満ちた言葉とは無関係に、様々な探究活動、生徒会活動、学校行事あるいは部活動等で、女子生徒がすべての役割を担いながら活動しています。そして、その中で、生徒は主体性と積極性を育み、それぞれの資質と能力を伸ばしています。

また、私たちの学校では、これまでも SSH スーパーサイエンスハイスクールなどで生徒の研究活動に取り組んできましたが、今後はさらに本格的な課題研究や探究的な活動を進めていく予定です。その中で、生徒が、現代の社会問題や環境問題の中にそれぞれの課題を見出し、その課題解決のために自分自身で考えて判断し、実行するという思考力と実践力を身に付けていくことを私たちは期待しています。

私たちは、新入生の皆さんが、この学校でのすべての活動を通じて、自分自身の存在の尊さとその価値を確信し、自信と勇気を身に付けた女性として成長されることを願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様に御挨拶申し上げます。この度は、皆様の大切なお嬢様をこの清心中学校・清心女子高等学校にお送りくださり、心より感謝申し上げます。先ほど述べましたように、本校は、岡山県下唯一のミッションスクールの女子校です。ミッションスクールと言っても、生徒に特定の信仰を押し付けるというものではありません。しかし、聖書の教えに基づき、「一人ひとりの生徒をかけがえのない存在として尊重する」という教育理念をしっかりと継承し、生徒それぞれの資質や能力を十分に伸ばし育てる教育を実践したいと考えています。

今日の良き日を始まりとして、私たち教職員は、保護者の皆様と力を合わせ、お嬢様の日々の成長を御一緒に励まし支えることができれば幸いに存じます。どうぞよろしく願いいたします。

終わりに、新入生の皆さんと御家族の皆様に、父なる神様と主イエス・キリストの豊かな祝福と恵みがありますように心よりお祈り申し上げ、式辞といたします。

二〇二四年四月九日

ノートルダム清心学園 清心中学校・清心女子高等学校

校長 松沢 克彦